

信州大学医学部附属病院 消化器内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年3月5日

**「原発性胆汁性胆管炎の治療反応性を規定するバイオマーカーに関する後ろ向き研究」
に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4300
研究課題名	原発性胆汁性胆管炎の治療反応性を規定するバイオマーカーに関する後ろ向き研究
所属(診療科等)	消化器内科
研究責任者(職名)	梅村武司(准教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年3月31日
研究の意義、目的	原発性胆汁性胆管炎の病態を明らかにすることを目的とした研究で、今後の治療法の決定などに貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	1990年1月1日から2018年3月31日の期間に当院で原発性胆汁性胆管炎について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果／保存肝組織標本
他機関への試料・情報の提供方法	郵送、電子的配信により提供します
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、原発性胆汁性胆管炎と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	九州大学(責任者:下田慎治)、浜松医科大学肝臓内科(責任者:川田一仁)、長崎医療センター臨床研究センター(責任者:中村稔)、金沢大学医学系人体病理学(責任者:原田憲一)
研究代表者	主任施設の名称:九州大学 研究責任者:下田慎治
問い合わせ先	氏名(所属・職名):梅村武司(消化器内科・准教授) 電話:0263-37-2634

既存の肝組織や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報削除し、主任施設である九州大学と共同研究機関である金沢大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。